

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 25 年 7 月 11 日 (2013.7.11)

【公開番号】特開 2012-131439 (P2012-131439A)
 【公開日】平成 24 年 7 月 12 日 (2012.7.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-027
 【出願番号】特願 2010-286885 (P2010-286885)
 【国際特許分類】

B 6 0 H 1/08 (2006.01)

B 6 0 H 1/03 (2006.01)

B 6 0 H 1/32 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 H 1/08 6 2 1 Z

B 6 0 H 1/03 C

B 6 0 H 1/32 6 2 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 5 月 23 日 (2013.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部電源により充電可能な電池と、

前記電池に対して充電可能な発電手段と、

前記外部電源、前記電池又は前記発電手段からの電力により発熱する電気ヒータと、

前記発電手段の廃熱又は前記電気ヒータにより空気を加熱するヒータコアと、

外気温度を検出する外気温検出手段と、

駐車時に、前記ヒータコアの熱源として前記発電手段の廃熱及び / 又は前記電気ヒータを用いる制御を行う制御手段と、
 を備え、

前記制御手段は、外気温が所定温度より低いときは、前記ヒータコアの熱源として前記発電手段の廃熱を用いることを特徴とする車両の制御装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の車両の制御装置において、

前記制御手段は、前記発電手段を作動させ、前記ヒータコアの熱源として前記発電手段の廃熱を用いることを特徴とする車両の制御装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の車両の制御装置において、

前記制御手段は、前記発電手段により前記電池を充電することを特徴とする車両の制御装置。

【請求項 4】

請求項 2 または 3 に記載の車両の制御装置において、

ドライバの事前暖房意図に基づく事前暖房完了予定時刻を判断する事前暖房要求判断手段を設け、

前記制御手段は、前記事前暖房完了予定時刻の所定時間前に前記発電手段を作動させることを特徴とする車両の制御装置。

【請求項 5】

請求項 1 ないし 4 いずれか 1 つに記載の車両の制御装置において、

前記発電手段の廃熱を熱源とした場合のエネルギーコストと、前記外部電源からの電力を熱源とした場合のエネルギーコストとを演算するエネルギーコスト演算手段を設け、

前記制御手段は、前記エネルギーコストが小さくなるように前記熱源を制御することを特徴とする車両の制御装置。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 5 いずれか 1 つに記載の車両の制御装置において、

前記発電手段の発電性能を抑制するか否かを判断する発電性能抑制判断手段を設け、

前記制御手段は、発電性能を抑制すると判断したときは、前記ヒータコアの熱源として前記発電手段の廃熱と前記電気ヒータとを併用することを特徴とする車両の制御装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するため、本発明では、外部電源、電池又は発電手段からの電力により発熱する電気ヒータと、発電手段の廃熱又は前記電気ヒータにより空気を加熱するヒータコアと、外気温度を検出する外気温度検出手段と、を備えた車両において、駐車時に、ヒータコアの熱源として発電手段の廃熱及び / 又は電気ヒータを用いる制御を行う際、外気温度が所定温度より低いときは、ヒータコアの熱源として発電手段の廃熱を用いることとした

。